

令和2年3月23日 遠野高校終業式中止にあたっての校長講話

校長 阿部 伸

皆さん、おはようございます。

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐ観点から、県の通知により、終業式及び離任式を中止としました。今年度の締めくくりと次年度に向けた大切な時期に、このような状況にあることは、とても残念ですが、世界的な広がりを見せるこの危機に対し、健康と安全・安心を守るため、やむを得ないと思いますので、家庭での生活、一人ひとりの行動が中心になりますが、ともに知恵を働かせて乗り越えましょう。

私からのお話しは、3月4日(水)朝の放送以来となります。繰り返しもありますが、伝えたいことを書面にて示します。

まず、新型コロナウイルスに係る状況は、日々変化しています。情報もいろいろと出ていますが、デマに惑わされず、正しく恐れること、感染から身を守る正しい行動をとることを心掛けてください。

今回の、この大きなピンチをいかにチャンスに変えるかという視点で物事を考えて欲しいと思います。

相当な期間、学校での授業や部活動が自粛や禁止となります。様々な制限の中、自らが、生活のリズムを作り、計画をたてて実行していく必要があります。皆さんには、「自ら考え行動する自律(自立)」、「自らが判断し実行する自走」、これが大きく求められます。一人ひとりがどのように考えて、どのように行動したかが、ピンチのまま終わるのか、チャンスに変えられるのかの、分かれ道です。

学校でも、様々な連絡を一斉メール、学校ホームページ(HP)、Classiで行っています。スマートフォンやパソコンでインターネット環境に多く触れるなか、情報を活用して効果を得るか、それとも、マイナスの利用方法になってしまうのか、どうでしょうか。皆さん一人ひとりが、正しく活用することを信じています。

部活動面でも、限られた条件の中、どのようなことが出来るのか、これも一人ひとりの工夫が求められます。

全てにおいて、与えられたことや指示されたことだけではなく、自分で考えて取り組む絶好の機会と捉えてください。幸い、時間はたっぷりあります。

指示を待つだけではなく、自分で考えて、計画を立てて、実行していく。そしてどうしても、行き詰まったり、考えられないときには、遠慮なく学校に連絡して支援を求めて下さい。

次に、3月11日(水)の朝、出勤途中の車の中で聞いたラジオ放送のお話をします。東日本大震災津波発災から9年が経ちました。その時、釜石の奇跡(出来事)と言われた鵜住居地区で中学三年生だった、菊池のどかさんのインタビューからです。

菊池さんは、岩手県立大学卒業後、釜石市の津波伝承施設「いのちをつなぐ未来館」ガイドとして、あの時のことを語り継ぐ仕事をされています。私が番組を聞いて、強く印象に残っていることを伝えます。

それは、震災が菊池さんに教えてくれたのは、「何か起きる前にやる大切さ」というところです。「本当に何か起きる前に準備しておく大切さ」ということは、全てに通じる大切なことだと思いました。菊池さんは、「津波が来たから人生が変わったのではなく、防災教育を受けていて生き残ったから、人生が変わったのだ」と、感じたそうです。その当時から珍しい世代だったそうですが、震災前から防災教育を受けていて、生き残って、「教えてもらった分、今度は返さないといけない」と思い、今の活動をしているそうです。

私たちは、今まさに、目に見えない感染症との戦いに直面しています。そのような中、いつ降りかかってくるかわからない災いに対し、心を構え、準備していくことはとても重要です。

例えば避難訓練のように、様々想定して命を守る行動を教わっていますが、何も起きてないときにやるのが、「それをやる意味があるのか?」とか、「なぜそれに時間を割くのか?」という気持ちで臨んでいた人もいるかもしれません。地震や大雨による洪水や土砂災害のほか、火事や事故などに対しても、日ごろからの、「構え」や「準備」はとても大切です。

さらに、皆さんのこれからの高校生活のことを考えてみましょう。最初に述べましたが、今は、年度の締めくくりと次年度に向けて大切な時です。見通しが立たないことが多くありますが、準備して備えることはできるのではないのでしょうか。学校の再開もどうなるかわからない。部活動や大会の開催もどうなるかわからない。進路についても同様です。このような中、何を、どう考えて、どう行動するか、によって、大きく未来が変わるのではないのでしょうか。それが、ピンチがピンチのまま終わる人と、ピンチをチャンスに変えられる人の分かれ道になると思います。

学校は皆さんの力になります。そして、遠高生の底力を信じています。

それでは引き続き、感染症をしっかりと予防し、健康に留意しながら、各家庭において、自分で計画をたてて、やれること、やるべきことに取り組んでください。

最後に、定期人事異動が発表になりました。内容については、同様に紙面での発表となります。私ごとですが、定年退職となります。2年間、本当にお世話になりました。今後ますますの遠野高校の発展と生徒の皆さん一人ひとりの活躍を心からご祈念いたします。本当にありがとうございました。以上で、校長からの講話を終わります。